

渡河部の橋梁や河川隣接構造物の流出防止対策（福島県いわき市）

効果概要：令和元年台風19号では、累加降水量約216mmの大雨に伴う道路流出等の被災を受け、約3日間の通行止めが発生。被災箇所の応急復旧を行ったのち、5か年加速化対策として、道路の流出防止対策を実施した結果、令和4年9月の大雨では令和元年台風19号を上回る累加降水量約269mmの大雨を観測したが、大雨による道路流出等が生じることなく、交通機能を確保。

府省庁名：国土交通省

■ 実施主体：国土交通省 東北地方整備局

■ 対策の概要及び事業費

路線	対策内容	事業費	対策期間
国道49号	道路盛土工 ブロック積工 等	約6億円	R2～R3

※福島県 国道49号 維持管理における、5か年加速化対策事業費（河川隣接）の総額

【対策内容】



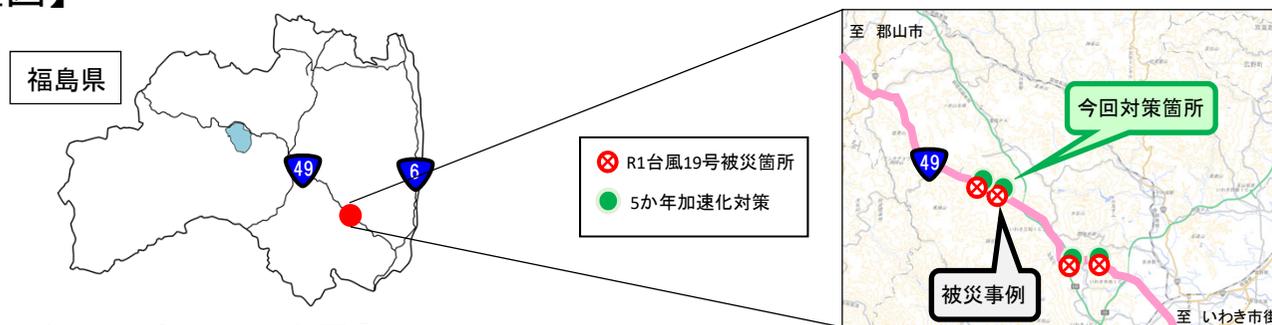
令和元年台風第19号による被災（道路流出）

流出防止対策



令和3年3月対策完了

【位置図】



【令和4年9月大雨の効果】

令和元年台風19号
累加降水量：約216mm

・複数箇所で道路流出等の被災を受け、約3日間の通行止めが発生



令和4年9月大雨
累加降水量：約269mm

・被害なし（通行止めなし）

※ 累加降水量：R1年9月、R4年9月中の降水量の累計値（気象庁 気象データ（事業箇所の近隣箇所データ））